

こんにちは 日本共産党福生市議会議員

池田公三 さん です

No. 45 2015. 2. 18

事務所 志茂 115 アイエスマンション 101 号

電話 042-530-0705

ホームページ

池田公三 検索

なんでも相談 第1火曜 午後7時



12月市議会  
一般質問から  
その4

昨年の12月市議会（12月2日～12月19日）で私は、4点について一般質問を行いました。1点ずつ市民の皆さんにご報告してまいります。今回はその4点目（最終回）。

## ついに中学校給食実現！

わたしが市議会に送り出させていただいてから最も力を入れてきた公約が「中学校給食の実施」でした。福生市民30年来の願いでした。議会の度ごとに一般質問でその必要性を訴えて来ましたが、その甲斐あって、2019年実施が決まりました。本当に良かったと思います。

## 次は、学校給食費の無料化を



しかし、これで満足しているわけにはいきません。近隣自治体はすでに以前から実施していた中学校給食ですから。子育て世代の人口流出に歯止めをかけるためには、福生市ならではの思い切った子育て支援策が必要です。私は、それこそが学校給食費の無料化だと考えています。

私が学校給食費の無償化を求めて市費会で一般質問を行うのは、12月市議会が3回目です。

6月市議会でも…憲法26条「義務教育はこれを無償とする」の具体化として、学校給食費無料化について質問。

9月市議会でも…少子化対策、人口減少対策、子育て支援などの政策的意義から学校給食費無料化について質問。

今回は学校給食費を保護者から集めるためにかかっている経費を省く行財政改革の観点から質問しました。給食費を有料化している自治体の多くは、給食費の滞納累積問題を抱えています。昔と違って銀行口座からの引き落としができるようになり、随分手間がかからなくなったといえ、それでも全児童生徒の収納を管理するのは膨大な手数です。しかも、滞納を累積させないためにはきめ細かな督促や手立てが必要です。福生市は、学校給食は小学校だけですが、平成24年度で現年分と累積分を合わせて約140万円の滞納額とのことでした。

福生市ではこうした滞納を含む給食費の収納のために係長職1人、パート職員1人、給食費管理システム電算機借り上げ料などで約1200万円の経費がかかっています。こうした収納経費は、学校給食費を無料化することで解消することができます。そして、その分の人員・経費を他の市民サービスに充てることのできるのです。

また、学校給食費を無料化することで、滞納家庭の児童・生徒の精神的負担を解消する事ができます。親が給食費を滞納していることを知った子どもにとっては、給食の時間がつらいものになってしまいます。このことが不登校の原因の一つになっていると指摘する関係者もいます。食育教育の重要な場である給食が、経済格差のために十分に保障されないようなことは義務教育にあってはならないことです。今、無料化する自治体が増えている理由の一つです。



福生市には70億円（その内20億円は使い道の決まっていない財政調整基金）を超える積立金があります。平成25年度決算でも11億円の剰余金を出し、平成26年9月補正で5億円以上も財政調整基金に積み増ししています。一方、学校給食費無料化は1億円で実現できるのです。

日本共産党福生市委員会は池田公三さんの活動について発表しました

福生民報

発行 2015年 2月  
日本共産党福生市委員会  
責任者 太田  
福生市志茂 115 101号室

# 学校給食費無料化を実施している 大田原市に行ってきました

私は、2年半前から学校給食費無料化を実施している栃木県大田原市を訪問し、お話を伺ってきました。

大田原市は、人口は7万5千人で福生市の5万8千人より少し多く、行政面積は福生市の50倍も広く、水田や畑が広がる地域です。福生市と同様、人口減少が続いていることは共通の課題です。子どもの貧困率や就学援助受給率などは福生市より低いようです。それでも学校給食費無料化事業が始まったのは、やはり市長のリーダーシップによるところが大きかったようです。未来の大田原市を支える子どもたちは、市民全体で育てていくんだという考え方が、この事業の根底に貫かれていることが印象的でした。



大田原市役所湯津上支所

大田原市は、無料化実施後1年経過した時点で、保護者アンケートを実施し、報告しています。

## 大田原市としての評価

保護者は2/3が継続を希望しており、廃止しても良いという意見の中にも、給食費無料化に感謝しつつ高齢者対策、福祉対策、校舎の冷房化などを優先すべきという声がある。しかし、保護者の視点に立てば、ありがたいもので、他市町村に誇れる継続すべき支援であると総括できる。

給食費が無料になった理由について、「市民全体で子育てを支援するため」と教えている又は教えたいと考える保護者が6割であった。給食費の無料化が、子どもたちに納税の大切さや地域住民への感謝の心を教えるきっかけになっていることがうかがえる。

## 保護者の声

我が家では小中学生が3人いるので、無料化はとても助かります。感謝しています。

大田原市へ引っ越してくる方が多い理由もわかりました。市全体での子育て支援に関しては、他の市町村に比べてしっかり取り組んでいるなあと感じています。

高齢化社会を支え、これからの社会を担っていくのは子どもたちです。子どもたちが心身ともに健康に育っていくための支援を希望します。

正直、はっとしました。給食が無料化になり、保護者の経済的負担が軽くなった事に対して、ただ喜んでいただけでした。無料化の裏側には、市民全体のサポートがあることに全く気づかず、もちろん子どもに伝えたこともありませんでした。この機会に、感謝することを教え、また、納税についてや私たちの身近にある税金によって支えられているものなどについても話してみたいと思いました。

私は、福生市でも、この事業を是非実現させ、子どもが安心して学習でき、子育て世代が安心して子どもを産み育てられるようにしたいと思います。「子育てするなら福生」が福生市のスローガンです。この4月から始まる病児保育事業も福生市の進んだ事業の一つです。学校給食費無償化を東京で一番に実現させ、名実共に「子育てするなら福生」と言えるようにしたいと思います。

3月議会でも、この課題を引き続き取り上げ、一般質問を行う予定です。市民の皆さん、ぜひ傍聴にお越しください。インターネット中継・録画もご利用ください。



給食時間を利用した食育教育